

となみ授業スタンダードⅣ

R7.02

砺波市教育センター

【自立した学習者を育てる教師の役割】

- ①誰一人取り残さない「居場所づくり」
- ②教材研究で、各教科の**見方・考え方**を確認
- ③適宜、子供と**学び方**を共有・確認

※学び方を身に付けよう **児童・生徒編** 参照

主体的・対話的で深い学びを実現するポイント			
	(主体的・対話的)		(深い学び)
導 入	「考えてみたい」と思える学習課題の共有 【意欲が高まる学習課題】 日常生活との関連 既習事項・経験とのすれ 		
	【学習の見通し】 既習内容（系統性）や前時の確認、類似経験の想起、考える視点の提示 ・約7割の子供が「解けそうだ」を目安に学び合いに入る。		①本時の学び方を確認 ・ゴールの姿 ・誰とどのように ・時間
学 び 合 い	個の学びを深めるための場の工夫 【自己調整】 考えをもつための時間とアウトプットする時間を自己決定		
	個 別 何を考えたいのかを明確にする。 ・机間指導で状況を確認する。	小集団 話し合いの視点・方法を明確にする。 ・全体を見渡して、必要な小集団に支援する。	全 体 教師は、ファシリテーターとなる。 ・子供たちの思考を止めないように支援する。
ま と め ・ 振 り 返 り	まとめ・振り返りの時間の確保(10分程度) 【ま と め】 本時の学習課題に対するまとめ ・子供が自分の言葉でまとめを書けるようにする。 【振り返り】 学習内容や学び方、家庭で学習したいこと等の振り返り 例：「〇〇さんの考えを聞いて、違う視点に気付いたよ」「〇〇さんの学び方が参考になったよ。次時に生かしたい」「家でももう少し難しい問題にチャレンジしよう」		②知識の概念的 理解 ・複数の事実を一般化 ③教師の見取りと 出場 ・困っている子供への支援 ・教科の見方・考え方を働かせている発言等を価値付け ・まとめにつながる板書 ④考えの深まりを メタ認知する 振り返り ・導入時（前時）の考えとの変容に着目

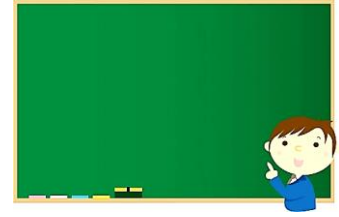
【心理的安全性の高い職員室】

- ① **居場所**があり、あたたかみを感じる職員室
- ② 分からないことも自由に**相談**できる職員室

授業の心得

【子供が**落ち着く環境**】

- ① 教室前面の掲示物は**必要最小限**にしています。
- ② **黒板全面**が使えるようになっています。
- ③ 子供の机の中・横は、必要な物を**精選**しています。
- ④ 黒板前に教卓等を置いていません。
教師の机上・棚等は、**整然**としています。
- ⑤ 廊下等は、**すっきり**しています。



【教師の大切な**役割**】

<導入>

- ⑥ **テンポよく短時間**で行っています。※前時の確認、前時の適用問題の活用、映像の活用
<学び合い>

- ⑦ 子供が**必要に応じて**、席を離れて相談できるようにしています。
- ⑧ 個別指導しながらも、絶えず**子供たち全体**を見ています。

※机間指導で立ち止まる時間は、原則10秒程度

- ⑨ **子供同士が関わる工夫**をしています。

※発表者の考えを別の子供が説明 ※学習形態の工夫（3～4人のグループが望ましい）

- ⑩ 発言に対する周囲の子供の反応を**観察**し、タイミングよく板書しています。
- ⑪ 板書は見やすい文字の大きさと、**端的**に書いています。

<まとめ・振り返り>

- ⑫ 子供が**自分の言葉**で学習の成果を短時間でまとめます。タブレット等を用いて振り返る**時間を確保**し、相互承認につなげます。

<授業全般>

- ⑬ 笑顔を心がけ、子供と**目でキャッチボール**をしています。
- ⑭ 声や表情に**変化**をつけ、丁寧な言葉で話しています。
- ⑮ 無駄な言葉を削る**努力**をしています。

※タイムマネジメントの意識、一問一答の防止

- ⑯ 「**間**」を意識した話し方を心がけています。

※全ての子供の思考時間の確保

- ⑰ 気になる子供に対して**さりげなく支援**をしています。



【タブレット等の**有効活用**】

- ⑱ タブレットは机の横等の近くにあり、子供自らが**必要に応じて**使えるようになっています。
- ⑲ ソフトの操作等、子供同士で**教え合う関係**をつくっています。
- ⑳ 黒板と電子黒板、ノートとタブレットの効果的な**使い分け**を心がけています。
- ㉑ タブレットを利用して、一人一人の**考え**を把握しています。
- ㉒ タブレットを利用して、**子供同士が考え**を共有できるようにしています。